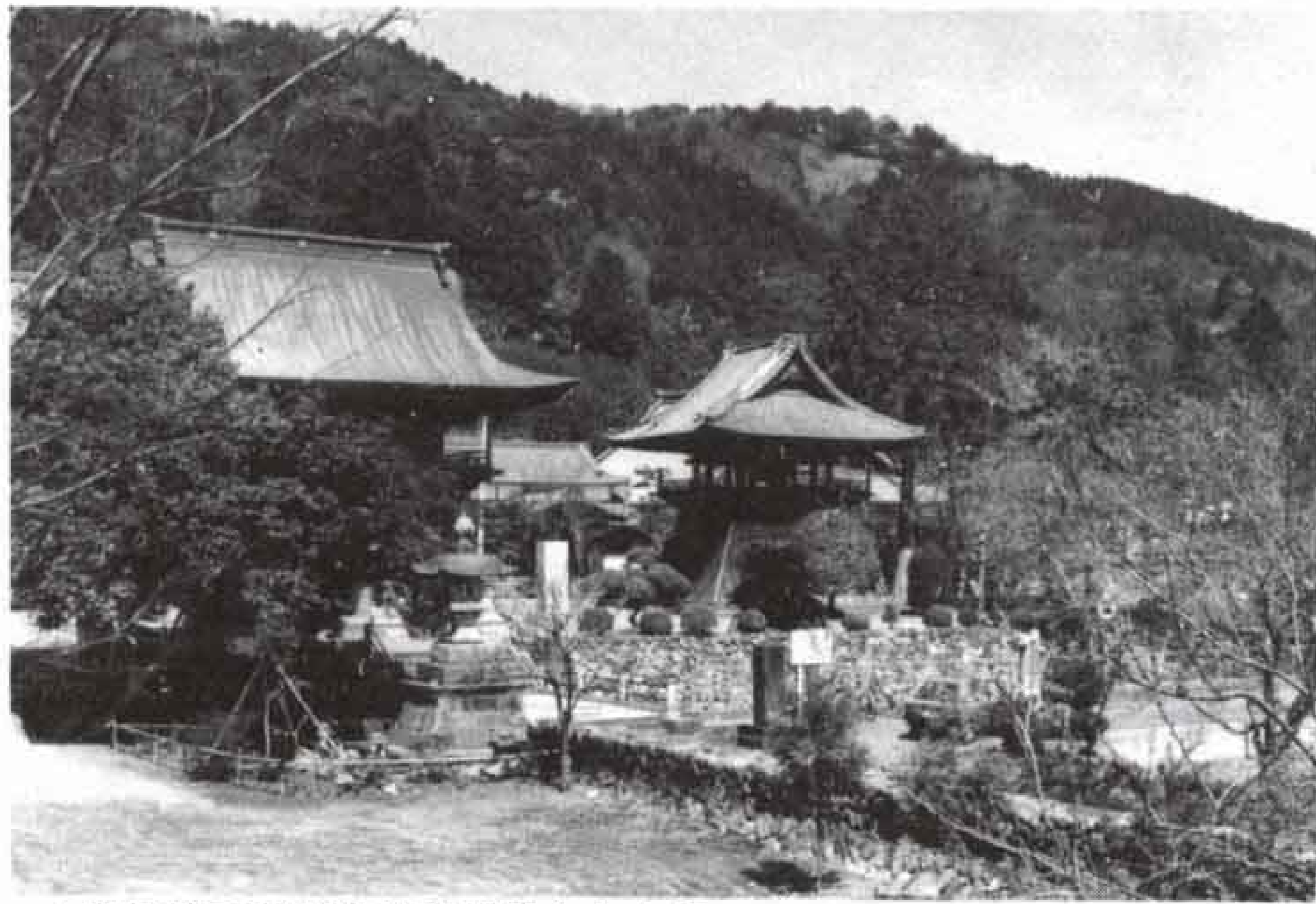


ネットワーク



△岩松地区の歴史は実相寺とともに

自然と史跡に恵まれた うるおいのあるまち

岩松

- ▼人口 一万五千三百五十三人
- ▼世帯数 四千二百五十世帯
(昭和六十一年一月一日現在)
- ▼面積 六・五一平方キロメートル

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。5月は富士南、6月は田子浦地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課 ☎51-0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。

岩松地区は、岩本山台地と富士川の東岸に広がる地区で、今から八〇〇年ほど前に創建された岩本山実相寺の門前町とし発足しました。江戸時代の初期、古郡孫太夫父子三代にわたる治水事業「かりがね堤」の完成は、富士川流域の新田開墾を進め、洪水から完全に新田を守ることに成功しました。昔は、旧東海道の沿線として、また富士川の渡船場として旅人の往来の多い地域でもありました。現在は、次々と住宅が建ち並び新しい住宅地を形成しつつありますが、富士川河原の果樹園、岩本山台地東側の茶畑、そ菜畑など農業地域を残している地区でもあります。

また、かりがね堤から西の富士川河原、岩本山の樹林地帯など自然景観もすばらしく、市民のレクリエーションの場ともなっており、文化財も数多く残されている地域です。今後、文化財の保護や自然との調和を保ちながら、文教地区として健康で快適なまちづくりを目指します。



田島さん一家は双子の兄弟と父英一さん(五十二歳)・母芳子さん(四十一歳)の四大家族。長男の克彦君と次男の孝之君は



ほがらか家族

湯沢平一 田島さん一家



湯沢平一丁目に住む田島克彦君と孝之君は双子の兄弟。ことしそろって富士宮西高へ進学しました。一家団らん中の田島家におじやましてみました。

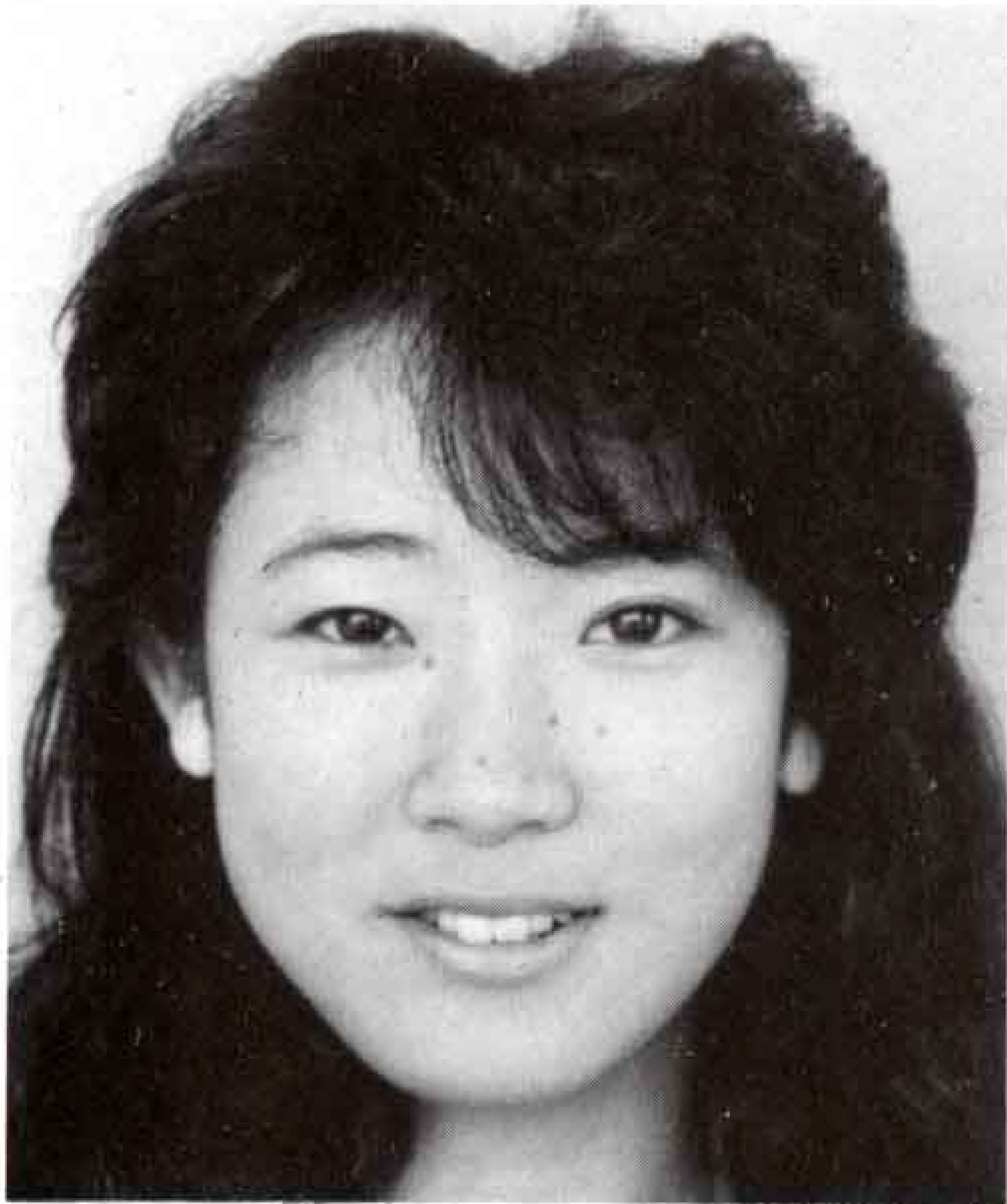
双子ですから当たり前かもしれないですが、よく似ています。先生やクラスメートが間違えることがよくあり、幼いころの写真になると「自分たちでもどっちがどちらかわからない」とのこと。

岩松中学校時代は、二人とも陸上部に属していました。市民陸上大会では兄の克彦が走り高飛びで優勝、弟の孝之君が四百メートルで準優勝しています。また、ジュニアリーダーとしても活躍しました。

二人は、「決して相談はしませんが、結果として同じことをしています」と言います。

他人が見ると何から何までそっくりの二人も、お父さんから見ると「克彦は慎重派、孝之は行動派で正反対」といいます。お母さんは「とても手のかからない子供たちで私は楽ですよ」と大きな声で笑う。

田島さん一家の雰囲気は、ほがらか家族。ほがらかさの秘訣は、お母さんの笑い声にあると感じました。



NHKテレビ「しずおか630」
のアシスタント

渡辺 裕子さん

伝法上中町 22歳



昨年の秋のこと。大卒女子の就職状況は厳しく、焦りかけていたとき、ふと目にしたのが「しずおか630」のアシスタント募集の放送。

ただ「やってみてみたいな」という軽い気持ちで申し込んだところ、百人を超える応募者の中から、午後六時半の顔に選ばれました。身長は百六十七センチメートル。キヤメル色のプレザーの着こなしはとてもシックです。「お化粧の仕方もよく知らなくて…」という健康的なさわやかさが印象的です。「六時三十分と言つと、仕事から帰つてくつろぐ時間。視聴者の方にくつろげる雰囲気をお伝えしたい」というのが今の抱負。

花の大学生活から全く違う社会へ飛び出して、見ることに驚くことばかり。ただ今やべり方の特訓中です。

「富士市の視聴率を上げてくれと言われています。皆さん見てください」としつかり「マーシャル。テレビへ登場は四月七日からの予定です。」

まち

我がまちを語る



佐野隆夫さん

岩本上町 64歳

信仰深さと素朴さ

「お茶とみかんのあるところへ住みたい」とかねがね思っていた私は、今から三十五年ほど前、富士宮から現在の居住地(岩本上町)へ移ってきました。

このあたりの町並みは、当時と比べてもほとんど変わっていません。それだけ土着の人たちが多いまちだと言えます。実相寺の門前町として発展してきたなごりか、近所にはやどやの〇〇さん、とうふやの〇〇さんなどいまだに屋号で呼ぶ家も多く、門前町としてにぎわった当時がしのばれます。また、昔ほどではありませんが実相寺を初め、天神さん水神さん、稲荷さんなど昔ながらのお祭りにもぎわいを見せます。このように神社、仏閣を大切にしてきた土地柄か、岩松人は信仰深く素朴な人だと言えます。



水神さんの掃除を
水神子供会



渡辺幸子さん
滝戸

文化活動をもっと盛んに

「昔から住んでいる人は気付かないでしょうが、岩松地区はとも住みやすいところですよ」と、十二年前に南足柄市(神奈川県)から転居してきた渡辺さん。毎週、岩松公民館を会場に生協活動の一環として軽スポーツを楽しんでいます。「文化活動がもう少し盛んになるといいですね」と、今後に期待をしています。

水神の子供会は、毎月、第二、第四日曜日、小学校三年生以上の子供たちが水神社の掃除をしています。昭和五十六年から、みんなの地域をきれいにしよう、奉仕の心を養おうなどの理由で始めたものです。「雨の日、風の日、寒い日暑い日などつらいときもあります。が、これからも続けていきたい」とみんながんばっています。



浦町

私も岩松の人曰:
クラデユス・渡辺さん

あの人・この人・こんなこと

昨年三月、常夏の国ドミニカから、日本人のご主人との結婚により日本へ。「友達もいっぱいできました」と笑顔で答えるクラデユスさん。「語学が大好き」の言葉どおり日本語の上達ぶりにはビックリ。家事、育児の合間にスペイン語を教え、エアロビクスで汗を流すという生活。やさしいご主人と祖父母、長男の五人家族。

